



岩手日日新聞社
 一関市南新町 60
 北上支社
 北上市芳町9の5
 電話 0197 (65) 3447
 (65) 0468
 F A X 0197 (65) 1569
 ©岩手日日新聞社 2013
<http://www.iwanichi.co.jp/>

みんなに優しい 住まいをカタチに

株式会社 太陽住建
 北上市営業所: 北上市常盤台4-9-21
 住宅リフォーム ご相談ください
 Tel. 0197-63-7773
www.toycujuken.com

北上市

起業塾 スタート

17人が最終審査通過目指す

北上市が主催する市起業家支援事業の「起業塾」は11日夜、同市相去町の北上オフィスプラザで開講した。さまざまな分野で起業を目指す17名が最終審査の通過と将来の起業を目指す。3月まで全11回の講義を受講している。

イサーや公認会計士ら専門家による個別指導を受け、起業後半年を経過し優秀賞3件以内に絞られた。最終審査通過者にはそれぞれ100万円の準備支援金が支給されるほか、起業後半年を経過した際に再び100万円を支給。その後も市と北上

オフィスプラザで継続支援する。参加者は20〜60代の幅広い年齢層で、希望する業種もさまざま。市内か



開講式では同塾の運営 役社長が「志高く起業し、成功させてほしい」とあいさつ。早速同日から、メイン講師でバイヤーズの登内芳也代表取締役の講義がスタートし、出席した14人の受講者は真剣な表情で耳を傾けていた。

同事業は起業意欲を持つ志望者を支援して起業の実現と成功に導き、地域経済の活性化や雇用拡大につなげるよう2012、13年度事業として実施している。市しらゆり大使で市工業振興アドバイザーの松井利夫氏からの寄付金1000万円を活用した。

同支援事業は、ビジネスプランコンテストで事業計画を公募し、13件17人の志望者全員が合格。今後は同塾で起業アドバ

「推薦」に伊藤さん(一関)

3枚組み「シニアは踊る」

大胆な構図で躍動感を表現

第28回岩手日日写真コンテストの審査会は11日、一関市南新町の岩手日日新聞社で開かれ、最高賞の「推薦」には伊藤和衛さん(同市)の「シニアは踊る」(3枚組み)が選ばれた。【12面に関連】

岩手日日写真コンテスト

同コンテストは同新聞社が主催、県写真連盟や富士フィルムイメージングシステムズ、県、県教委、一関ケーブルネットワークが後援。題材は自由とし、単写真または3枚以内の組み写真を募集した。推薦に輝いた伊藤さんの組み写真は、ダンスの優雅さや躍動感を大胆な構図で表現した作品。審査員の小川文男同連盟会長は「人物の動きをよく捉えており、全身を入れないところがいい。シャッターチャンスを見逃さず、しっかり考えて撮影している」と高く評価していた。

▼岩手日日写真コンテストの推薦に輝いた伊藤さんの3枚組み「シニアは踊る」



将来の活性化

西和賀でシンポ 意見発表

西和賀町と町議会が主催する「町の明日を考えるシンポジウム」は11日、同町沢内の沢内バーデンで開かれた。地域活性化に向けた意見発表や講演などが行われ、参加した住民らは人口減少に伴って生じる地域課題の解決方策について考えた。

少子高齢化と過疎化によって人口減少と産業の空洞化が進む同町。地域の持続と発展のため、町の抱える課題を町民が共有し、解決に向けた方策や新たな展開の糸口を考える機会にしようと、シンポを開催した。

シンポには町民を中心に約100人が参加。細井洋行町長は「町を思う人は多いが、思いが伝わらないところに課題がある。産業と人材がどの

ような仕組みや発想を持って取り組むべきか、情報交換しながら一歩踏み出したい」とあいさつした。

引き続き町6次産業推進センターの高橋直幸主任と町地域おこし協力隊員、湯澤正町議の3者が、6次産業化を踏まえ、た地域振興や外部目標の提言、島根県海士町の取り組みに学ぶ地域振興を

271世帯582人が避難

北上市 交流、支援を継続

東日本大震災から11日で1年10カ月が経過した。北上市には被災地から271世帯582人(2012年12月末現在)が避難しており、前月から増減は無く横ばい状態が続いている。きたかみ震災復興ステーションでは、「ふるさとカフェ」を継続しているほか、各種趣味のサークルを通して避難者同士の交流を促進している。

避難者を地域別に見ると、田野畑村1世帯、宮古市10世帯、山田町2世帯、大槌町80世帯、釜石市56世帯、大船渡市16世帯、陸前高田市37世帯、宮城県22世帯、福島県2

空洞化が進む同町。地域の持続と発展のため、町の抱える課題を町民が共有し、解決に向けた方策や新たな展開の糸口を考える機会にしようと、シンポを開催した。

シンポには町民を中心に約100人が参加。細井洋行町長は「町を思う人は多いが、思いが伝わらないところに課題がある。産業と人材がどの

ような仕組みや発想を持って取り組むべきか、情報交換しながら一歩踏み出したい」とあいさつした。

引き続き町6次産業推進センターの高橋直幸主任と町地域おこし協力隊員、湯澤正町議の3者が、6次産業化を踏まえ、た地域振興や外部目標の提言、島根県海士町の取り組みに学ぶ地域振興を

きょうの天気

	9	12	15	18	21	24	最高	最低
一関	☁	☁	☁	☁	☁	☁	3	-5
千厩	☁	☁	☁	☁	☁	☁	1	-7
水沢	☁	☁	☁	☁	☁	☁	2	-6
江刺	☁	☁	☁	☁	☁	☁	1	-6

きょうの紙面

緩和ケア認定看護師教育修了触れて楽しむ恐竜化石展
 犬ぞりフェス今年も様変わり
 児童がめでた舞習得に意欲
 宮城の被災醸造所オープン